

平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 シンワアートオークション株式会社  
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-art.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 倉田 陽一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益戸 佳治  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 03-5537-8024

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	568	—	70	—	63	—	47	—
25年5月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 44百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	9.24	8.70
25年5月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 平成26年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年5月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については、記載していません。  
 2. 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	2,499	1,454	57.3	270.22
25年5月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 1,431百万円 25年5月期 1百万円

- (注) 1. 平成26年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年5月期の数値については、記載していません。  
 2. 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、平成26年5月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割後の金額を記載しております。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,569	—	171	—	158	—	122	—	23.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(平成26年1月10日)公表いたしました「平成26年5月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

- (注) 1. 平成26年5月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については、記載していません。  
 2. 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、平成26年5月期の連結業績予想の通期の1株当たり当期純利益の金額は、株式分割後の金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	6,156,900 株	25年5月期	5,906,900 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	859,800 株	25年5月期	859,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	5,169,433 株	25年5月期2Q	5,250,500 株

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は平成26年1月14日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料は、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、四半期連結財務諸表につきましては前年同四半期等との比較分析は行っておりませんが、オークション関連事業につきましては前年同四半期との比較を行っております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年6月1日～平成25年11月30日）におけるわが国の経済は、政府の経済政策への期待感から円安・株高が進行し、企業収益は徐々に改善の方向に向かい始めたものの、個人消費は、消費税率引き上げや物価上昇に伴う実質所得の低下による将来的な影響への不安等により、本格的に回復するまでには至っておらず、また、海外では新興国経済の成長鈍化や欧州経済低迷の長期化などが懸念され、引き続き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、当社の主たる事業であるオークション関連事業において高額美術品を中心とした優良作品のオークションへの出品及び富裕層を中心とした美術品コレクターのオークションへの参加促進に努めるとともに、再生可能エネルギー関連事業及び医療機関向け支援事業においては、安定的な収益の早期確保に向けた体制の構築に努めました。

## ①オークション関連事業

当第2四半期連結累計期間は、主力の近代美術オークションにおいて前年同期間比で出品点数、取扱高ともに大きく増加し、また特別オークションとして開催した「富本憲吉記念館 辻本勇コレクション」及び「日本刀オークション」が当初予想を大きく上回る結果となり、取扱高2,093,042千円（前年同期間比53.5%増）、売上高564,140千円（前年同期間比14.5%増、内商品売上高173,188千円（前年同期間比33.9%減））となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第25期第2四半期連結累計期間							
	自 平成25年6月1日							
	至 平成25年11月30日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション	1,102,270	83.8	239,606	85.3	3	389	318	81.8
近代陶芸オークション	87,610	△41.9	19,375	△40.0	2	368	332	90.2
近代美術Part II オークション	167,310	49.5	45,651	34.9	3	1,117	1,036	92.8
その他オークション	588,369	172.3	132,155	153.9	8	1,432	1,187	82.9
オークション事業合計	1,945,559	80.4	436,789	76.5	16	3,306	2,873	86.9
プライベートセール	98,438	△57.1	93,750	△57.0				
その他	49,045	△12.0	33,600	23.8				
オークション関連 その他事業合計	147,483	△48.2	127,350	△48.1				
オークション関連事業合計	2,093,042	53.5	564,140	14.5				

近代美術オークション部門の取扱高は1,102,270千円（前年同期間比83.8%増）、売上高は239,606千円（前年同期間比85.3%増、内商品売上高50,074千円（前年同期間比216.2%増））となりました。出品点数、落札単価ともに前年同期間比で大きく増加し、取扱高、売上高が増加しました。

近代陶芸オークション部門の取扱高は87,610千円（前年同期間比41.9%減）、売上高は19,375千円（前年同期間比40.0%減、内商品売上高247千円（前年同期間比72.3%減））となりました。落札率は90.2%と高い水準を維持しましたが、当第2四半期会計期間に開催した「富本憲吉記念館 辻本勇コレクション」は、後述のその他オークション部門に含めてありますので、前年同期間との比較では、取扱高、売上高が減少しております。仮に同オークションを近代陶芸オークション部門に含めた場合、取扱高は242,285千円（前年同期間比60.5%増）、売上高は56,802千円（前年同期間比75.8%増、内商品売上高247千円（前年同期間比72.3%減））となります。

近代美術Part IIオークション部門の取扱高は167,310千円（前年同期間比49.5%増）、売上高は45,651千円（前年同期間比34.9%増、内商品売上高6,452千円（前年同期間比15.1%減））となりました。92.8%という高い落札率を維持しつつ、出品点数、落札単価ともに前年同期間比で増加し、取扱高、売上高が増加しました。

その他オークション部門の取扱高は588,369千円（前年同期間比172.3%増）、売上高は132,155千円（前年同期間比153.9%増、内商品売上高652千円（前年同期間比89.5%減））となりました。当第2四半期連結累計期間は、前年同期間と同様、Bags/Jewellery&Watchesオークション2回、ワインオークション1回、西洋美術オークション1回を開催した他、特別オークションとして「富本憲吉記念館 辻本勇コレクション」、「日本刀オークション」、「斎藤真一コレクション」、「草間彌生コレクション」を各1回開催し、取扱高、売上高が増加しました。

プライベートセールにおきましては取扱高は98,438千円（前年同期間比57.1%減）、売上高は93,750千円（前年同期間比57.0%減、内商品売上高93,750千円（前年同期間比57.0%減））となりました。当第2四半期連結累計期間は高額品の取り扱いが少なく、前年同期間との比較で取扱高、売上高が減少となりました。

## ②その他事業

再生可能エネルギー関連事業におきましては、平成25年9月に宮崎県西都市のメガソーラー発電施設（徳北太陽光発電所、発電規模993.6kw）を取得し、平成25年11月より九州電力株式会社への売電を開始しております。50kw級の小型ソーラー発電施設の分譲販売につきましては、その用地確保に努めましたが、当期間中に完工した施設はありませんでした。

医療機関向け支援事業におきましては、平成25年6月より診療報酬債権ファクタリング事業を開始し、医療機関向けファクタリングのための具体的折衝を随時行っておりますが、当社の第7回新株予約権に係る資金調達の遅れと、当社からの一時貸付を再生可能エネルギー関連事業に対して優先的に行っていることにより、投資機会を見送る状況にあります。

以上により、当第2四半期連結累計期間は、経常利益63,155千円、四半期純利益47,767千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、2,499,565千円となりました。その主な内訳は現金及び預金1,440,265千円、オークション未収入金163,033千円、商品273,263千円、前渡金115,541千円、有形固定資産318,735千円、投資その他の資産57,407千円であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、1,045,483千円になりました。その主な内訳はオークション未払金461,903千円、短期借入金130,000千円、長期借入金263,625千円であります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,454,082千円になりました。その主な内訳は資本金849,714千円、資本剰余金454,464千円、利益剰余金351,243千円、自己株式△222,826千円であります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前事業年度末より384,759千円増加し、また新規連結に伴う現金同等物の増加19,189千円により、1,065,265千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は194,701千円となりました。これは主に売上債権の減少額55,682千円、オークション未払金の増加額168,179千円及び税金等調整前四半期純利益59,385千円などによる資金増加と、たな卸資産の増加額63,540千円及び前渡金の増加額44,461千円などによる資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は337,726千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出303,162千円及び定期預金の預入による支出275,000千円に対し、定期預金の払戻による収入245,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は525,699千円となりました。これは主に短期借入金の純増加額130,000千円、長期借入れによる収入285,000千円及び株式の発行による収入111,617千円による資金増加と配当金の支払額9,994千円による資金減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年1月10日に公表いたしました「平成26年5月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第2四半期連結累計期間において、連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更を行っております。

(連結の範囲又は持分法適用範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

当社は、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエーペック株式会社及びシンワメディカル株式会社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間より、Jオークション株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当社は、持分法非適用の関連会社でありましたASIAN ART AUCTION ALLIANCE COMPANY LIMITEDについて、第1四半期連結会計期間より連結財務諸表の作成に伴い、持分法適用の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、ASIAN ART AUCTION ALLIANCE COMPANY LIMITEDに対する緊密な者又は同意している者による議決権所有割合が増加したため、子会社に該当することになりましたが、支配が一時的であると認められるため、連結の範囲には含めておりません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成25年11月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,440,265
売掛金	10,311
オークション未収入金	163,033
商品	273,263
販売用不動産	28,268
前渡金	115,541
その他	92,989
貸倒引当金	△251
流動資産合計	2,123,422
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	8,448
機械及び装置(純額)	299,412
車両運搬具(純額)	1,733
工具、器具及び備品(純額)	7,140
建設仮勘定	2,000
有形固定資産合計	318,735
投資その他の資産	
その他	71,231
貸倒引当金	△13,823
投資その他の資産合計	57,407
固定資産合計	376,143
資産合計	2,499,565
負債の部	
流動負債	
買掛金	3,333
オークション未払金	461,903
短期借入金	130,000
1年内返済予定の長期借入金	21,375
未払法人税等	11,114
賞与引当金	16,226
役員賞与引当金	12,165
その他	75,877
流動負債合計	731,995
固定負債	
長期借入金	263,625
退職給付引当金	29,950
その他	19,913
固定負債合計	313,488
負債合計	1,045,483

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成25年11月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	849,714
資本剰余金	454,464
利益剰余金	351,243
自己株式	△222,826
株主資本合計	1,432,596
その他の包括利益累計額	
為替換算調整勘定	△1,204
その他の包括利益累計額合計	△1,204
新株予約権	14,243
少数株主持分	8,445
純資産合計	1,454,082
負債純資産合計	2,499,565



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	568,633
売上原価	172,456
売上総利益	396,177
販売費及び一般管理費	326,003
営業利益	70,173
営業外収益	
受取利息	89
為替差益	2,275
受取保険金	1,800
その他	690
営業外収益合計	4,855
営業外費用	
支払利息	1,067
持分法による投資損失	1,559
新株予約権発行費用	8,554
その他	693
営業外費用合計	11,874
経常利益	63,155
特別損失	
固定資産除却損	1,450
事務所移転費用	2,318
特別損失合計	3,769
税金等調整前四半期純利益	59,385
法人税、住民税及び事業税	8,758
法人税等調整額	5,001
法人税等合計	13,759
少数株主損益調整前四半期純利益	45,626
少数株主損失(△)	△2,141
四半期純利益	47,767

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,626
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,204
その他の包括利益合計	△1,204
四半期包括利益	44,422
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	46,563
少数株主に係る四半期包括利益	△2,141

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 平成25年6月1日  
 至 平成25年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	59,385
減価償却費	6,922
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△103
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,774
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,817
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,000
受取利息及び受取配当金	△89
支払利息	1,067
売上債権の増減額 (△は増加)	55,682
オークション未収入金の増減額 (△は増加)	7,915
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63,540
前渡金の増減額 (△は増加)	△44,461
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,338
オークション未払金の増減額 (△は減少)	168,179
有形固定資産除却損	1,450
その他	7,748
小計	198,775
利息及び配当金の受取額	112
利息の支払額	△1,067
法人税等の支払額	△3,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,701
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△303,162
定期預金の預入による支出	△275,000
定期預金の払戻による収入	245,000
敷金及び保証金の差入による支出	△7,147
敷金及び保証金の回収による収入	2,582
投資活動によるキャッシュ・フロー	△337,726
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	130,000
長期借入れによる収入	285,000
株式の発行による収入	111,617
配当金の支払額	△9,994
少数株主からの払込みによる収入	4,900
新株予約権の発行による収入	4,176
財務活動によるキャッシュ・フロー	525,699
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,085
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	384,759
現金及び現金同等物の期首残高	661,316
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	19,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,065,265

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。